

令和7年6月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	5	議席 番号	19	氏名	植 松 健 一 議員	1 / 1
発 言 項 目				要 旨		答 弁 者
1	インバウンド、オーバーツーリズムについて			コロナ禍後、インバウンドの急激な増加により日本のほとんどの観光地は活気を帯びてきている。当市においても富士山、富士山本宮浅間大社、朝霧高原など多くの訪日外国人観光客が訪れている。観光産業の面から考えるとありがたい話ではある。しかし、全国的に見るとそれに伴う様々な問題も発生してきている。今後インバウンドによる問題やオーバーツーリズムについてどのように対応していくのか、当局の考えを伺う。 (1) 富士登山において山梨県は昨年、静岡県は本年から4,000円の入山料を徴収することとなった。どのようなシステムで入山者、入山料の管理を行うのか。それに伴う当市の対応について伺う。 (2) 現在、インバウンドやオーバーツーリズムによって当市において発生している問題はあるか。 (3) 6月8日に富士山本宮浅間大社で外国人による人為的火災が発生した。火災の詳細について分かっていることはあるか。 (4) 当市には観光の要になっている重要文化財や世界遺産の構成資産がある。これからはこれらを守っていくための対応も必要になると考えるが対応策はあるか。 (5) 当市においてもますますのインバウンドの増加やオーバーツーリズムが予想されるが、それにより懸念される問題は何か。また、それについての対策は考えているか。		市長 副市長 教育長 関係部長
2	ごみの回収とリサイクルについて			昨年度、環境厚生委員会において「プラスチックをはじめとするごみのリサイクルについて」を政策課題として研究をし提言を行った。今後、ごみのリサイクルについて提言に対応する政策の立案を大きく期待するところである。また、ごみの回収については様々な意見を市民からいただくことが多い。リサイクルと回収について当市の考えを伺う。 (1) 令和6年4月から始まったプラスチックの分別収集については1年が過ぎ、市民にもしっかりと根づいたのではないかと感じる。これまでの分別収集とリサイクルの成果と今後の方向性について伺う。 (2) ペットボトルのリサイクルについては昨年末アサヒ飲料株式会社と協定を結んだが、その進捗状況について。 (3) 昨年度、静岡県の使用済紙おむつ再資源化について協定を締結し実証実験を行ったがその成果はどうだったか。伺う。また、その結果を今後当市としてどのように活かしていくのか伺う。 (4) 青木平区では高齢でゴミ出しが困難な家庭を対象に生活ごみの有料での戸別回収を行っている。青木平区の取組の成果について伺う。今後市としてゴミ出し困難家庭についての対応を検討してはどうか。 (5) 家庭から出る粗大ゴミが大きすぎて収集場所に運べないことや、清掃センターまで運ぶことができずに処理に困っているという話をよく聞く。たまに少ししか出ない粗大ゴミを業者に回収依頼するととても高額になってしまうため、断念して置いたままという方が多いようである。有料を前提としてでも市で粗大ゴミの戸別回収を行うことを検討できないか。		市長 副市長 教育長 関係部長